

全国都市緑化くまもとフェアの開催決定について

2021年度の開催を目指し誘致を進めてきました「全国都市緑化くまもとフェア」について、国土交通大臣から開催同意書をいただき、本市が開催地として決定しましたのでお知らせします。

「全国都市緑化フェア」は、都市緑化を推進し、緑豊かな潤いのあるまちづくりを目指して開催するもので、本市では2回目の開催となります。

今回のフェアを通じて、市民、企業、関係団体等の力を結集し、上質で緑豊かな「森の都」の再発見と、めぐみ豊かな自然環境を活かした「森と水の都」の発信を図る契機とするとともに、地域産業や観光産業の振興、さらには、熊本地震からの力強い復興を発信していきます。

1 開催概要

開催時期：2022年春の2ヵ月程度（3月から5月頃）

主催者：熊本市、（公財）都市緑化機構

会場：

<メイン会場>

街なかエリア：熊本城公園及びシンボルプロムナード一帯

水辺エリア：水前寺江津湖公園一帯

まち山エリア：立田山

<パートナー会場>

託麻三山、金峰山、雁回山、八景水谷公園などの各区の自然資源
連携中枢都市圏や他市町村の観光名所等との連携による会場

交通拠点（熊本駅、熊本空港、熊本港）等



熊本城公園



水前寺江津湖公園



立田山

2 今年度（2019年度）の取組み

有識者による意見も踏まえた「基本計画」を策定し、策定後は「実行委員会」を設立し、開催に向けた諸準備を進める予定。

本日午後より、銀染コアビル壁面に、開催決定をPRする懸垂幕を設置

問い合わせ先

公園課（328-2523）

課長：佐藤 武士（さとう たけし）

担当：技術参事

桑畑 勇太（くわはた ゆうた）

1 全国都市緑化フェアについて

「全国都市緑化フェア」は、都市緑化を推進し、緑豊かな潤いのある都市づくりを目指して開催するもので、昭和58年に第1回が大阪で開催されて以来、今年度までに35回開催されています。本市では昭和61年に「第4回 くまもとグリーンピック'86」が開催されており、2回目の開催誘致を目指しています。

近年の開催概要

	第31回・静岡 2014年度（H26）	第32回・愛知 2015年度（H27）	第33回・横浜 2016年度（H28）	第34回・八王子 2017年度（H29）	第35回・山口 2018年度（H30）
開催自治体	静岡県 浜松市	愛知県	横浜市	八王子市	山口県 山口市
開催時期	春（87日間） 3/21～6/15	秋（58日間） 9/12～11/8	春（72日間） 3/25～6/4	秋（30日間） 9/16～10/15	秋（52日間） 9/14～11/4

今後の開催都市：長野（2019年度）、広島（2020年度）



第35回やまぐちフェア
（大花壇）



第33回よこはまフェア
（みなとガーデン：歩道）



第29回TOKYOフェア
（庭園コンテスト）

2 開催の意義

『熊本の緑と水』の継承と発展

- ・美しい緑と豊かな地下水の存在から“森の都”や“地下水都市”と形容された自然環境の継承
- ・めぐみ豊かな自然環境の魅力を活かしたまちづくりの展開

『協働によるまちづくりと担い手づくり』の推進

- ・多くの市民や企業等の参画と協働によるまちづくりの推進
- ・将来の緑のまちづくりの担い手となる子どもたちを育成して豊かな自然を次世代へ継承

『防災・減災』のまちづくり

- ・緑や水を活かした防災力の向上（グリーンレジリエンス）
- ・公園などのオープンスペースにおける防災イベントを通じて防災意識を向上

グリーンレジリエンス：緑や水（自然資源）を活かした防災力の向上（震災からの回復力）

『熊本地震からの復興』の発信

- ・熊本地震から力強く復興する“くまもと”の発信 ～熊本からのメッセージ～
- ・震災から5～6年を迎えての新たなステージへの展開

3 開催テーマ

(1) 統一開催テーマ	『緑ゆたかなまちづくり』 ～窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう～
(2) くまもとフェアのテーマ	開催の基本理念や基本方針を踏まえて基本計画で定めます テーマ設定の考え方 開催の基本理念である「森と水の都・新時代」「熊本地震からの復興のメッセージ」「未来への禱」をイメージできるもの

4 開催の基本理念・基本方針

■ 基本理念

“森の都”の魅力再発見と“森と水の都”の発信

「点検と評価」「新たな緑のまちづくりの展開」「緑の魅力の再発見」「森と水の都の発信」

熊本地震への支援に対する感謝と復興のメッセージ

「熊本城の復旧と復興」「他市町村と連携した感謝と復興のメッセージ」「グリーンレジリエンス」

未来への禱 ～未来へつなぐ、つなげる～

「市民・団体・子どもたちによる参加型のフェア展開」「ボランティアの育成」「心の育成」

■ 基本方針

豊かな自然環境を活かした“熊本らしさ”あふれる会場展開

豊かな自然環境（緑・水）、伝統ある歴史・文化を活かした「地域特性・熊本らしさ」を発見・実感できるフェア

みどりの大切さを次世代に継承

緑と水に育まれた豊かな自然環境の中での体験などを通じて、緑の大切さを次世代につなげるフェア

地域づくりを進める多様な担い手の育成

地域を中心とした多様な主体の参画と協働により、今後のまちづくりの担い手の育成につなげるフェア

地域産業の振興・地域経済の活性化

花き・造園等の地域産業の振興、ツーリズム展開による観光産業の振興等、地域経済の活性化につなげるフェア

力強い復興と新たな熊本の魅力・元気な熊本を発信

連携中枢都市圏等の県内の市町村とともに、熊本地震からの力強い復興と熊本の魅力を発信するフェア

5 開催の基本的事項

(1) 名称	第38回 全国都市緑化くまもとフェア
(2) 主催者	提唱：国土交通省 主催者：熊本市、（公財）都市緑化機構
(3) 開催時期	2022年春の2カ月程度（3月から5月頃）
(4) 会場	<p>● メイン会場 街なかエリア：「熊本城公園及びシンボルプロムナード一帯」 水辺エリア：「水前寺江津湖公園一帯」（水前寺地区～広木地区、動植物園含む） まち山エリア：「立田山」</p> <p>● パートナー会場 市域や連携中枢都市圏、県内各地の多様な拠点で、本フェアの基本理念や基本方針に沿って協働・連携する、フェアの多様な参画主体「フェアパートナー」による運営を基本とする会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 託麻三山、金峰山、雁回山、八景水谷公園などの各区の自然資源 ・ 連携中枢都市圏の市町村や他市町村の観光名所等との連携による会場 ・ 交通拠点（熊本駅、熊本空港、熊本港） ・ その他
(5) 入場料等	会場等は無料を基本とします（動植物園や熊本城等については今後検討）
(6) 目標入場者数	会場条件、事業内容等を勘案して基本計画で設定します
(7) 愛称・シンボルマーク	幅広い世代に親しみやすくわかりやすいものを基本計画以降に設定し広報宣伝等に活用します

6 事業計画

(1) 屋外展示計画	<ul style="list-style-type: none"> ➢ まちの質を高め、暮らしに潤いをもたらす身近な花・緑など、多彩な表現による展示 ➢ 将来の担い手である花・緑・造園に携わる学生による新たなまちを彩る展示 等
(2) 植物調達計画	➢ 市内や周辺市町村の生産団体等と連携・協力した調達体制を構築 等
(3) 広報宣伝計画	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 既存イベントとの連携、SNSの活用など、フェア開催前からの効果的な広報戦略 等 ➢ 既存イベントや話題性のある催事等と連携したイベントの展開 ➢ ワークショップや講習会等、幅広い世代が参画できる花・緑や自然に触れる催事の展開 等
(4) 行催事計画	
(5) 出展計画 コンテスト計画	<ul style="list-style-type: none"> ➢ “熊本らしさ”を伝えるコンテンツの展開、関連団体等の情報・技術の競演の展開 ➢ 女性造園技術者による技能大会や学生によるデザインコンペ作品の展示 等 
(6) 参加交流計画	➢ フェア開催前から多様な主体と協力・連携した取組みの展開 等
(7) 会場運営計画	➢ 市民・企業・NPO団体等との協働による運営管理手法を積極的に導入 等
(8) 交通輸送計画	➢ 既存の公共交通機関の利用促進、シャトルバスの運行等の検討 等

7 メイン会場計画

名称・区分	概要
<街なかエリア> 熊本城公園 及び シンボル プロムナード 一帯	<p>会場コンセプト 『“くまもと”の歴史・文化と生まれ変わる緑・水・花のまち』</p> <p>基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ “くまもと”の昔と今、そしてこれからの“まち”をイメージする会場 ➢ アーケード街から白川へと花や緑を導くことで、中心市街地全体の賑わいを創出 <p>展開イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本城の復旧過程の公開による復興の発信 ・ “くまもと”の歴史・伝統文化の継承 ・ 街なか全体（アーケード、公園等）を花と緑で彩る新しい街並みの魅力発信と美しい街並みづくり ・ 多様な主体の参加による賑わいと交流の拠点づくり 等 
<水辺エリア> 水前寺 江津湖 公園一帯	<p>会場コンセプト 『水の恵みを楽しむ豊かな緑とそこに暮らす生き物の楽園への招待』</p> <p>基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 水前寺江津湖公園や動植物園を舞台に、水と緑を実感・体感する会場 ➢ 自然の中で学び、遊びを通して、自然環境への関心や意識を向上 <p>展開イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然豊かな生態系に関連する団体やくまもと水守等による環境学習プログラムの展開 ・ 植物園エリアで、植物や園芸を身近に体験・体感するとともに、魅力や話題性のある植物を展開 ・ 水前寺成趣園から広がる歴史・文化の発信と江津湖全域での回遊性の向上 等 
<まち山エリア> 立田山	<p>会場コンセプト 『自然豊かな立田山を知り・学び、遊び・親しみ、未来に残す』</p> <p>基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 街なかにある里山の貴重な緑の資源の顕在化を図る ➢ 身近にある自然との新たな向き合い方を発見する場として展開 <p>展開イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立田山の資源を活用したワークショップやイベント等の展開 ・ 既存の活動団体と連携し、立田山等の保全活動に関わる人材の発掘・育成 ・ 立田山の有する歴史・文化の魅力発信につながる展開 等  

8 今後のスケジュール

